

電池の発熱、液漏れ、破裂に注意しましょう

- 災害用の懐中電灯やラジオの点検を -

電池は大変便利なものですが、使い方を誤ると、液漏れ、発熱、破裂等が起こる事があり、怪我や使用している機器を傷める原因になります。懐中電灯やラジオなど災害時に活躍する製品にも良く使われているので、防災グッズの確認にあわせて電池も点検しましょう。

液漏れ事故の事例

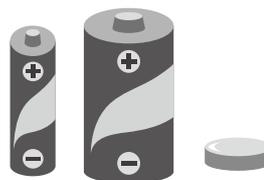
3歳の娘が、懐中電灯の電池を取り出そうとした際、電池が液漏れしていた為、太ももに化学熱傷を負った。+と-を逆に装填していた事が原因であることが判明した。

破裂事故の事例

懐中電灯のボタン電池を交換しようと蓋を開けた途端、ボタン電池3個のうち1個が飛び、2つに割れた。1個は古い電池であった。

■電池の使用上の注意

- ①電池の向き(+と-)を良く確かめましょう
- ②銘柄が異なる電池を混合して使用しないでください
- ③古い電池と新しい電池を混合して使わないでください
- ④機器を使用した後はスイッチを切りましょう
- ⑤使い切った電池はすぐに機器から出し、適切に捨てましょう
- ⑥長期間使用しない場合は、電池を外しておきましょう
- ⑦電池から漏れた液に触れた場合は、すぐに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けるようにしましょう



松伏町消費生活センターでは、消費生活相談を実施しています。月~木曜日 午前10時~正午、午後1時~4時

問合せ:教育文化振興課 ☎991-1873/企画財政課 ☎991-1815

人権それは愛

人はみんないっしょ

人は、みんないっしょです。でも、見た目や年い、特技などは人それぞれです。たとえば、体の不自由な人、言葉があまりしゃべれない人、生まれてからすぐに病院で過ごしている人、お年寄りなどです。

私は、目の見えない人の気持ちを考えてみました。目の見えない人は、目を開けても何も見えない。電気をつけても光が見えない。すごく不安だと思います。私は目をつぶって歩くことは出来ないし、しっかりと見えていたってつまづいたり、転んだりしてしまうことがあります。それなのに、たまに町で見かける目の見えない人は、つえを使ってしっかりと歩いています。とてもすごいと思います。

だから私は、このようにがんばっている人が困っている時や大変そうなときは助けてあげたいと思いました。

次に、お年寄りの気持ちを考えてみました。私のおじいちゃんは、左うでがいたくてうでをもちあげられなくて、おばあちゃんは、足がいたくて階段の上り下りがつらそうです。

電車やバスに乗ると、こしのまがったお年寄りが、手すりにつかまってつらそうに立っていることがあります。お年寄りが立っていて、元気な若い人が席に座っているということは、あってはいけないと思います。ゆずってあげようという優し

い気持ち大切だとおもいます。みんないつかはおじいちゃん、おばあちゃんになります。助け合って、みんなが楽しく過ごせたらいいと思います。

最後に、私達とは見た目の違う外国人の気持ちを考えてみました。私の学校では、外国語の勉強の時間になると外国人の先生が来てくれます。初めはちょっとこわそうで、先生の言っていることが分かるか不安だったけれども何時間もいっしょに勉強していくうちに英語で話している先生の言っていることがなんとなく分かってきました。それは、先生がジェスチャーをしたり、くり返し言ったりして、私達に伝えようとしてくれたからだと思います。見た目も言葉もちがうけれど、外国人だからといってさげたり、こわがったりしてはいけないとおもいます。きっと外国人は、日本に来て、わからないことがいっぱいあると思います。せっかく日本を選んで来てくれているから、「日本は優しい国だな。」と思ってもらいたいです。どんな人でも、「いらっしゃい。」という温かい気持ちで見守ってあげたいと思います。私は、色々な立場の人の気持ちを考えてみて、これからもどんな人でも差別をしないですごしていきたいです。

人権作文集~こころ~ より